

平成 29 年 11 月 8 日

委員各位

日本学術振興会
結晶加工と評価技術第 145 委員会
委員長 柿本 浩一

(独)日本学術振興会「結晶加工と評価技術」第 145 委員会
第 156 回研究会 開催通知

テーマ：「先端計測と太陽電池研究」

日時：2017 年 12 月 14 日（木）

会場：明治大学 駿河台キャンパス グローバルフロント 1 階 多目的室

世話人：宇佐美 徳隆（名古屋大学）、大下 祥雄（豊田工大）、小椋 厚志（明治大学）、
高遠 秀尚（産総研）、田口 幹朗（パナソニック）

プログラム

13:00～13:10 委員総会

13:10～13:15 開会の挨拶 九州大学 柿本 浩一

13:15～13:20 はじめに 名古屋大学 宇佐美 徳隆

13:20～14:00 「可視光励起光電子分光による伝導帯キャリアの直接観測」
名古屋大学 宇治原 徹

14:00～14:40 「3次元アトムプローブ法を用いた材料解析：原理と応用」
東北大学 清水 康雄

14:40～15:20 「太陽電池プロセスにおける酸素析出初期状態の直接観察」
トクヤマ 正田 勲

15:20～15:40 休憩

15:40～16:20 「太陽電池開発のための結晶シリコンのライフタイム評価・イメージング手法」
産総研 望月 敏光

16:20～17:00 「データ科学を駆使した適応的マッピング測定」 名古屋大学 沓掛 健太郎

17:00～17:40 「TiO_xを用いたキャリアセレクトティブコンタクト」 産総研 松井 卓矢

17:40～17:45 おわりに パナソニック 田口 幹朗

18:00～20:00 意見交換会（明治大学 グローバルフロント 17 階 グラブルラウンジ）

以上